

南会津 のうりんニュース



平成16年6月 (第73号)

今月の写真：「サイクルトレイン」(田島町田島)

去る5月22、23日に「第4回 東京・南会津サイクルトレイン」(主催：南会津サイクルトレイン実行委員会)が行われました。東京浅草から、東武鉄道の臨時列車に自転車を積んでやって来た約100名の皆さんが、自転車に乗って南会津の自然を満喫しました。

(撮影：岸)

今月の内容：

- ・今月のトピックス
(南会津の果樹第1号のエコファーマー認定!!)
(新緑のブナ林でファミリー緑の教室)ほか
- ・農林事務所からお知らせ
(農業用使用済みプラスチックを適正に処理しましょう!!)
- ・南会津の木のはなし(男杉・女杉(田島町))
- ・特集!
(お米特集(第1回)「売れる米づくりのために」)
- ・今月のコラム(南会津の豊かな自然を求めて)
- ・研修会・講習会等お知らせ

平成16年6月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

南会津の果樹第1号の エコファーマー認定!!

南会津郡の果樹栽培者で最初のエコファーマーが誕生しました。

『エコファーマー』は、持続性の高い農業生産方式を導入する計画を知事に提出し、認定された農業者の愛称です。

『持続性の高い農業生産方式』とは、たい肥等による土づくりと、慣行の栽培法から化学農薬・化学肥料の2割以上の低減を一体的に行う技術のことで、4月27日開催された認定委員会で田島町 さんが、南会津地方初の果樹(リンゴ)のエコファーマーとして認定されました。5月14日には南会津農林事務所でもエコファーマー認定証交付式が行われ、渡邊所長から認定証が交付され、星さんからは「安心して食べてもらえる美味しいリンゴ作りに励みたい」と、決意表明をいただきました。

なお、南会津郡内のエコファーマー認定者数は今回の認定で、トマト栽培132人、アスパラガス栽培1人、そしてリンゴ栽培1人の計134人となりましたが、環境にやさしい農業の実践のため、1人でも多くの農業者の取り組みをお願いします。

(農業振興部)

新緑のブナ林でファミリー緑の教室

南会津地方緑化推進委員会主催によるファミリー緑の教室が、5月29日に開催されました。今年は、檜枝岐村緑化推進委員会及び会津森林管理署南会津支署との共催により檜枝岐村において開催され、南会津郡の小学生の家族等約70名が参加しました。

これは、家族で自然にふれあい、楽しみながら森林の働きや大切さを学んでもらうことを目的に緑の募金を活用して開催されているもので、今年で18回目を数えます。

午前は森林インストラクターの芳賀朝美さんや、ふ

(2ページに続く)



(1ページから続く)

くしま・もりの案内人の古川勝久さん、南郷村の月田禮次郎さんや南会津農林事務所の職員が案内人となり、「ブナ平自然観察教育林」で自然観察会を行い、午後は「ミニ尾瀬公園」に場所を移し、公園内を自由に散策しました。

当日は、水芭蕉も美しく咲き誇り、新緑のブナ林の中で森の神秘を学んでいました。

なお、来年の開催地は田島町の予定です。

(森林林業部)

田植え体験の季節です

最近、都会の中学生などが教育旅行で南会津にやって来て、様々な体験学習をする機会が増えています。

その中の一つとして、東京にある東京学芸大学付属竹早中学校の約180名の生徒が、5月19日に田島町の針生地区で体験学習を行いました。

この中学校は去年から田島町で体験学習を行うようになり、今年は田植え体験、そば打ち体験やイワナつかみなどを行いました。



このほかにも、南会津地方には首都圏などから多数の学校が訪れ、学習や思い出づくりの場になっています。将来何度も南会津に来たくなるような、いい思い出が作れるといいですね。

(地域農林企画室)

農林事務所からお知らせ

農業用使用済みプラスチックを適正に処理しましょう!!

(農業振興部)

農業用プラスチックは農業生産に不可欠なものとなっていますが、使用済みプラスチックは「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、農業者が自らの責任により適正に処理すべきものと規定されており、野焼きをすると3年以下の懲役または300万円以下の罰金、不法投棄をすると5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金が科せられることになります。

下記により使用済プラスチックなどの回収がJ A 会津みなみにより行われますので、積極的に取り組み、環境にやさしい農業の実践に努めましょう。

- 日時 平成16年6月16日 9:00~12:00
- 場所 田島支店(塩江肥料倉庫)
下郷支店(選果場)
館岩支店(支店肥料倉庫)
伊南支店(支店駐車場)
南郷支店(花卉集荷場)
朝日支店(大倉配送センター)
- その他 荷姿や料金、その他の回収物等についてはJ Aにお問い合わせ下さい。

南会津の木のはなし

男杉・女杉

(田島町藤生)

(田島町農林課)

田島町藤生の熊野神社にある男杉女杉は、現存するものの中では田島町屈指の巨木・古杉です。周囲にも胸高幹周4メートルを超える大木が十数本あり、社祠全体を保護する目的を有しています。樹齢は明らかではありませんが、およそ480年くらいと推測されます。

男杉女杉の名称の起源は明らかではありませんが、男杉は樹幹の雄大さ、女杉は男杉に比してしとやかに映ることからそう呼ばれるようになったのかもしれない。



お米特集（第1回） 「売れる米づくりのために」

（農業振興部）

本年度より新たな米政策がスタートし、消費者重視・市場重視の米づくりが求められています。県及び関係機関等では、「水田農業改革アクションプログラム」を策定し、この中で、特色ある地域条件を生かし、多様なニーズに的確に対応できる生産体制の整備やトレーサビリティの導入などにより、安



全・安心、高品質、良食味、低コスト等の売れる米づくりを目指しています。

今後の米の生産目標数量は、本県産米の販売動向等によっては配分量が減少される場合もあることから、消費者ニーズに対応した売れる米づくりに積極的に取り組みましょう。

表：南会津地方の年度別ガイドライン

（単位：ha）

	現状(H14)	H16	H17	H18	H19
環境にやさしい米づくり	0	200	550	950	1,450
有機栽培	0	0	5	10	20
特別栽培	0	70	125	180	230
エコファーマーによる栽培	0	130	420	760	1,200
水稲直播栽培	20	80	85	90	100

1 売れる米づくりのための条件整備

消費者・実需者の多様なニーズに対応した、米づくりに必要な機械等の導入を促進するための事業が、平成16年度に創設されました。

■事業名：売れる米づくり条件整備事業
（県単独事業）

■事業内容：

- ① 環境にやさしい米づくりのための機械(側条施肥田植機、マニユアスプレッド等)
- ② 1等米比率、食味値等の向上のための機械等(色彩選別機、食味計等)
- ③ 低コスト稲作推進のための機械(直播機、コンバイン等)

■補助率：一般型にあつては1/3以内

■採択基準：

概ね10ha以上を受益面積とすること等

また、一定以上の規模で直播栽培に取り組む団地等に対して、取り組み内容に応じた支援（低コスト・省力化米づくり促進事業）もあります。



2 環境にやさしい米づくり

現在、JA会津みなみでは、「あきたこまち」での減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいます。

このような取り組みとともに、たい肥等による土づくりと化学肥料・化学農薬の使用を慣行栽培から約20%以上減らす導入計画の認定を受けて、「エコファーマー」になってはいかがでしょうか。

■エコファーマー認定の目安：

- ① 導入計画が、標準的な施肥窒素量(ひとめぼれ、あきたこまち8kg、たかねみのり10kg/10a以内)及び化学農薬使用回数（9回以内）に照らし適切であること。
- ② この栽培方式による作付面積が、同じ作物の概ね5割以上を占めること。
- ③ 導入計画は達成される見込みが確実（目標は5年後）であること。

南会津の豊かな自然を求めて

写真に魅せられて今年で4年目になる。これまでも旅行での記念写真などは撮っていたが、年とともに、自然と親しむ機会が増えたことから、リバーサルフィルムを使い、また、露出補正をしたりと、いわゆる芸術的(?)な写真としてのネイチャーフォトを始めたのである。

昨年4月に田島町に赴任してからは、早速、地元の写真クラブに参加し、講師の先生をはじめ会員の方々の御指導をいただきながら、南会津の四季折々の自然を撮っている。

当地方は、朝晩と日中の気温差が大きいためか、季節の変化がはっきりしており、一年を通じて色鮮やかな自然を楽しむことができる。特に、紅葉の時期などに、全山が燃えるような紅色や黄金色に埋め尽くされる光景は圧感であり、つい時を忘れて眺めてしまうほどである。



分校の秋
落合

写真を撮りに出かけるときは、季節を問わず、今日どのような自然に会えるのかと、毎回楽しみにしている。

観音沼へは、田島町から近いということもありよく出かける。途中にある分校も大変気に入っている場所の一つで、観音沼や猿楽台地などへ出かけるときには必ず立ち寄ることとしている。来年度からは本校に統合され廃校になると聞き、これは是非写真に残しておきたいと、レリーズを押す指にもつい力がいってしまう。



白い訪問者(観音沼)



南泉寺の桜



春の妖精たち(大橋)

5月上旬に、南泉寺の散り始めの桜を撮り、鳴沼に立ち寄ったあと郡内の西部地区へ出かけた。南郷村の大橋ではカタクリの花が最盛期を迎えており、可愛い春の妖精たちが辺り一面に顔を出している。木賊温泉から檜枝岐へ至る大規模林道の新緑も大変素晴らしいが、残念ながら今回はまだ開通していなかった。檜枝岐村のブナ平まで足をのぼしたが、この辺りはさすがに標高が高いせいか、雪が半分残っており、期待していた「ブナの根開き」はもう少しあとの楽しみになってしまった。

5月中旬には尾瀬の山開きが行われるなど、これから山々を含め自然の美しい季節となるので、南会津の豊かな自然を求めて、また、出かけていきたいと思っている。

(次長 大堀 満夫)

～研修会・講習会等お知らせ～



内 容 月 日 場 所

①直売で売れる農作物と少量多品目の栽培技術	7月6日(火)	農業短期大学校(矢吹町)
②農家レストラン等での環境づくり	7月15日(木)	農業短期大学校(矢吹町)
③一就学期体験学習1 緑の学園	前期7月22日(木)～23日(金) 後期7月29日(木)～30日(金)	農業短期大学校(矢吹町)

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866/農業普及部 0241-62-5262



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

電話 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.hukushima.jp

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100

PRINTED WITH SOY INK

この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。